

再び戦争はしない  
被爆者はつくりたい  
日本国憲法を守ろう

事務局 長崎市油木町 28-32 園田鉄美方 電話 (FAX 兼用) 095-845-5400

# 「大震災を利用した改憲論に注意」

## 長大・井田教授の講演に学ぶ 結成七周年のつどい

城山憲法九条の会は、二月十八日「会」結成七周年のつどいを城山カトリック教会・信徒会館で開催しました。

寒い中、二十四人が参加し、井田洋子さん（長崎大学教授、憲法学、県九条の会事務局長）の講演「憲法改正を巡る現在の状況」を聞き、改憲の動きを学びました。



井田さんは、日本国憲法は優れたものであるとしたうえで、民主党政権のもとで衆参両院に「憲法審査会」がつくられ憲法改正の動きが強まっているとし、昨年の大震災を利用して「緊急事態への対処」を口実にする憲法改正の新たな動きを指摘。自民党は全面改憲であるが、民主党の改正試案（二〇〇五年）も自民案と大差はないこと、また明文改正ではないが、秘密保全部「共謀罪」の創設、武器輸出三原則の緩和な

ど、憲法の精神をゆがめる動きにも注意しなければならぬと語りました。

また、参加者の感想として、「三・一一を契機に憲法改悪の動きが加速されている」とが判りました。「憲法が危ない立場にあることがわかり、今後の政治の動向を注視したいと思いました。」「危機感を持つて政治の状況を見ていかなければと思います。」「などが寄せられました。

「つどい」では冒頭に、鳥越房子さん、吉田みどりさんが、「子どもにつたえたい日本国憲法」（井上ひさし著）をスライド上映しながら朗読しました。



# 原発ゼロへ一〇〇〇人がつどい

## さようなら原発三・一一 ナガサキ集会

三月十一日、原発ゼロや再生可能エネルギーへの転換を求める「さようなら原発三・一一 ナガサキ集会」が長崎市賑町の中央公園で一〇〇〇人が参加して開催されました。



東京電力福島第1原発の事故を受け福島市から福岡県内に避難している宇野朗子さんが、「核と命は決して共存できない」と脱原発とともに事故被害者への生活再建支援などの活動について語りました。

集会は昨年発足した「さようなら原発一〇〇万人アクション・ナガサキ」主催。脱原発の署名は県内で十一万余人分。集会後市中心部までパレードし「原発ゼロ」を訴えました。

